



牛窓の町並みを練り歩く朝鮮通信使行列の一行

異国情緒あふれるまつり

牛窓エーゲ海フェスティバル

「牛窓エーゲ海フェスティバル2008」が11月9日、出島公園（牛窓町牛窓）で開催されました。会場には、地元野菜やとれたて鮮魚など特産品販売や地元団体・企業の出店があり、大勢の皆さんが、目当ての品物を買って帰っていました。ステージでは、牛窓伝統芸能の唐子踊や綾浦・粟利郷太刀踊、牛窓西小学校児童たちによるサムルノリとプチェチュム（扇の舞）、名刀太鼓が披露され、観客の皆さんから大きな拍手が送られていました。また、フェスのもう一つの目玉である朝鮮通信使行列も行われました。チマチヨゴリなどの衣装を身にまとった華やかな94人の異国情緒あふれる一行が、瀬戸内きらり館から会場まで行列。沿道の観客を魅了し、フェスを盛り上げていました。



異国情緒あふれる唐子踊が披露されました

3作業所の伝統を引き継ぐ

せとうち旭川荘開所式

10月1日にオープンした、障害福祉サービス事業所「せとうち旭川荘」（牛窓町長浜）の開所式が10月28日、関係者が参加し執り行われました。せとうち旭川荘は、障害者の自立促進のための施設として活動していた、すみれ会協同学習所、ひまわり作業所、たんぼの会福祉作業所の3作業所での機能を引き継ぎ集約。生活介護・就労継続支援棟や短期入所棟を備え、通所者が活動しやすいように造られています。式典ではテープカット後に「今までの3作業所の伝統を引き継ぎ、いきいきと伸びやかに活動していきたい」と江草安彦旭川荘名誉理事長があいさつ。せとうち旭川荘では、新しくパンの製造なども取り入れる予定で、これからもこの事業所ならではの取り組みを行っていきます。



開所を記念しテープカットを行う関係者

ハンセン病の正しい理解を深めよう

長島健康ウォーク

開通して20年を迎えた邑久長島大橋や長島愛生園・邑久光明園の2園がある長島の史跡などを巡りながら、ハンセン病の正しい理解を深めようと11月3日、長島健康ウォークが開催されました。市教育委員会の主催で行われ、県内から41人が参加。参加者は、さまざまな人権侵害が行われていた施設を訪ねました。長島愛生園では、納骨堂、収容所跡、収容棧橋などを見学。邑久光明園では、火葬場跡のしづみ塚公園や入所者が閉じ込められていた監房を訪ねました。その後、参加者たちは、「人間回復の橋」といわれる邑久長島大橋（全長185メートル）を歩いて渡り、橋ができるまでの長い歴史を振り返りながら、人権への認識を深めていました。



邑久長島大橋を歩いて渡る参加者の皆さん

いつまでもお元気で

武内信さんが満100歳に

10月18日、武内信さん（邑久町福谷）が満100歳を迎えました。10月19日に、三宅浩二備前県民局健康福祉課長や土井和子市健康づくり推進課長らがお祝いに自宅を訪問しました。武内さんは土井課長らの訪問を大変喜び、お祝い状を受け取りました。現在は岡山市の娘さんご夫婦と同居していて、大変元気に過ごしています。元気で長生きする秘訣は、「好き嫌いなくなんでも食べる。くよくよせず前向きに生きる」とです。武内さん、これからも元気で過ごしてください。



お祝い状を手にする武内さん

古備前の神髄を大窯で追求

市文化祭特別企画展「大窯の記憶」

邑久町公民館で10月18日、追及する森さんの思いに聞き入っていました。本年全長85メートルの巨大大窯を築いた森さんは、今までに築いた二つの大窯を築造した歩みを振り返り、その魅力と奥深さを説明。5年後に初窯を予定している新巨大窯への期待を語ると、来場者は、古備前のその奥深さに感銘を受けていました。



大窯の魅力や奥深さを語る森さん